

県民意識調査から見る淡路地域の現状について

趣旨

2001 年度に策定した現行ビジョンの推進過程において、社会統計や事業量評価では測りきれない、生活の質や豊かさを明らかにする主観指標（「兵庫ゆたかさ指標」）を設定し、推進状況の評価を図ってきた。

兵庫ゆたかさ指標から県民（地域住民）の意識の変化や現状を把握することで新たな地域ビジョン検討の糸口とする。

調査の概要

- ・対象者：県内に居住する満 20 歳以上の男女
（各市の住民基本台帳をもとに 500 名を無作為に抽出）

分析

・55 項目の設問に対して 5 段階評価のうち、評価 5 及び評価 4 の肯定的な回答の割合を集計した。

（5 そう思う 4 まあそう思う 3 どちらとも言えない 2 あまりそう思わない 1 そう思わない）

- ・「4つの将来像」と「12のめざす姿」にわけて現状把握を行った。
- ・全県共通の55項目とは別に、淡路地域独自の10項目についても調査を実施し集計をした。

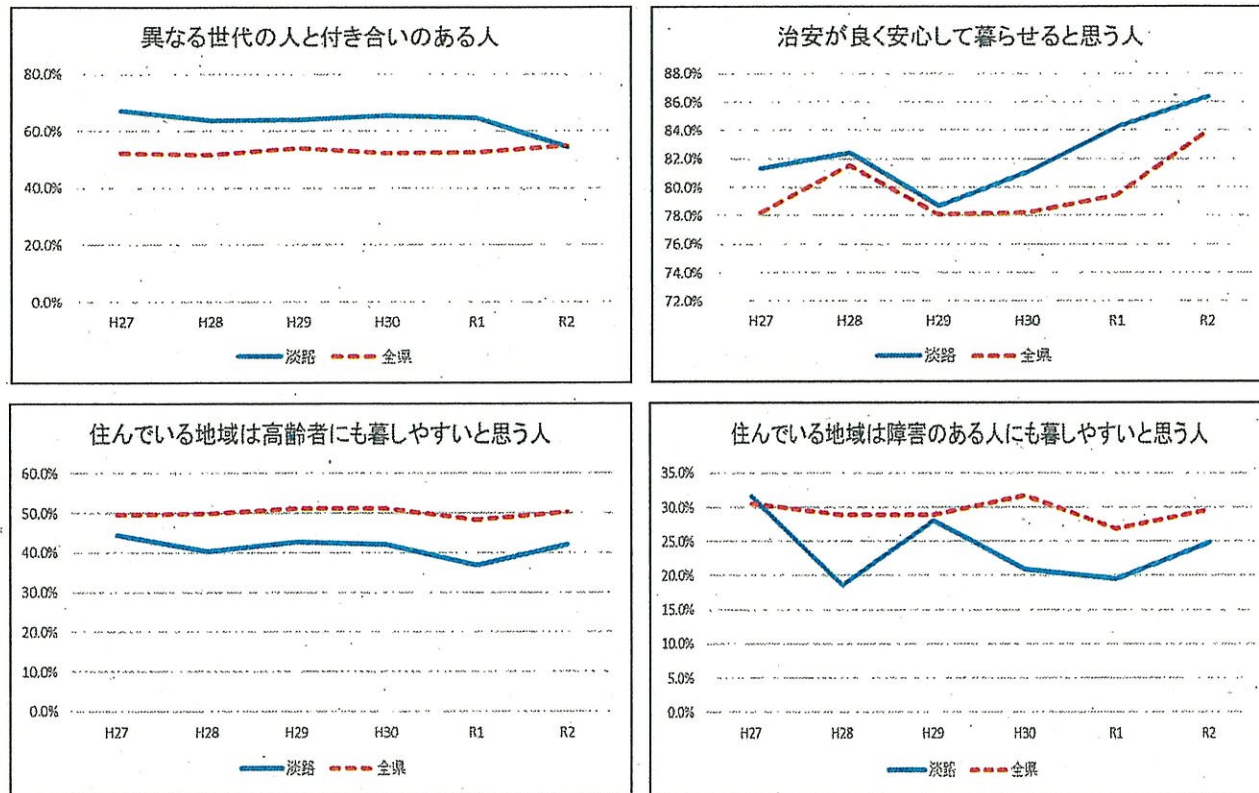


4つの将来像	12のめざす姿	指標名	H27	H28	H29	H30	R1	R2	全県
創造的市民社会	人と人のつながりで自立と安心を育む (将来像1)	家族とのコミュニケーションがとれている(電話などを含み、家族との同居・別居を問わない)人の割合	88.5%	87.4%	84.5%	92.2%	80.5%	86.8%	88.1%
		頼りになる知り合いが近所にいる人の割合	73.8%	66.8%	70.5%	72.1%	65.5%	65.4%	65.4%
		住んでいる地域で、異なる世代の人とつきあいがある人の割合	67.3%	63.7%	63.9%	65.4%	64.5%	54.2%	55.0%
		住んでいる地域は、治安が良く、安心して暮らせると思う人の割合	81.3%	82.4%	78.7%	81.1%	84.3%	86.4%	84.0%
		住んでいる地域では、住民による登下校時の見守り、夜間パトロールや街灯整備などの安全安心を守る取組が行われていると思う人の割合	52.9%	50.3%	40.8%	52.1%	48.1%	56.2%	72.1%
		住んでいる地域は、高齢者にも暮らしやすいと思う人の割合	44.5%	40.2%	42.7%	42.1%	36.7%	42.1%	50.5%
		住んでいる地域は、障害のある人にも暮らしやすいと思う人の割合	31.6%	18.6%	28.0%	20.8%	19.4%	24.8%	29.6%
		不当な差別がない社会だと思う人の割合	32.5%	41.2%	37.5%	35.6%	35.3%	35.2%	29.7%
	兵庫らしい健康で充実した生涯を送れる社会を実現する (将来像2)	心身ともに健康であると感じる人の割合	66.4%	61.0%	61.2%	67.0%	62.7%	59.4%	66.6%
		かかりつけの医者がある人の割合	73.5%	72.1%	77.3%	72.1%	71.8%	75.6%	74.2%
		目的をもって学んでいるものがある人の割合	37.1%	38.7%	40.5%	40.6%	35.8%	42.7%	42.4%
		ボランティアなどで社会のために活動している、またはしてみたい人の割合	38.3%	42.0%	36.4%	40.6%	36.9%	34.8%	35.3%
		お住まいの市・町では、芸術文化に接する機会があると思う人の割合	41.3%	32.8%	31.5%	35.9%	30.4%	32.9%	37.1%
	次代を支え挑戦する人を創る (将来像3)	住んでいる地域では、子育てがしやすいと思う人の割合	58.4%	52.5%	53.5%	51.2%	45.3%	54.1%	55.9%
		住んでいる地域の子どもは、伸び伸びと育っていると思う人の割合	68.9%	67.5%	68.4%	72.4%	65.3%	68.2%	68.0%
		住んでいる地域では、心の豊かさを育む教育や活動が行われていると思う人の割合	39.1%	35.0%	36.2%	39.4%	32.9%	34.5%	38.4%
若者が希望を持てる社会だと思う人の割合		6.8%	11.0%	9.6%	8.3%	9.1%	8.5%	11.9%	

I 創造的市民社会

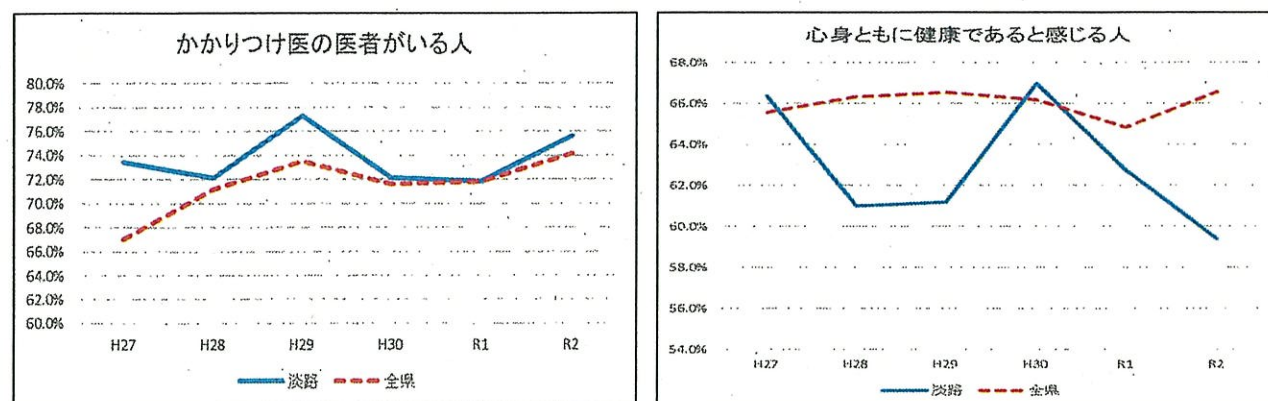
将来像1 人と人のつながりで自立と安心を育む

- ・人口減少や小規模集落の増加が進む中で「異なる世代の人と付き合いがある人」の割合は減少傾向にある。
- ・「住んでいる地域の治安が良く、安心して暮らせると思う人」の割合は高いが、「高齢者や障害のある人にも暮らしやすいと思う人」の割合は県下各地域の中でも最も低く、車社会の地域であることや公共交通の不便さが影響しているように思われる。



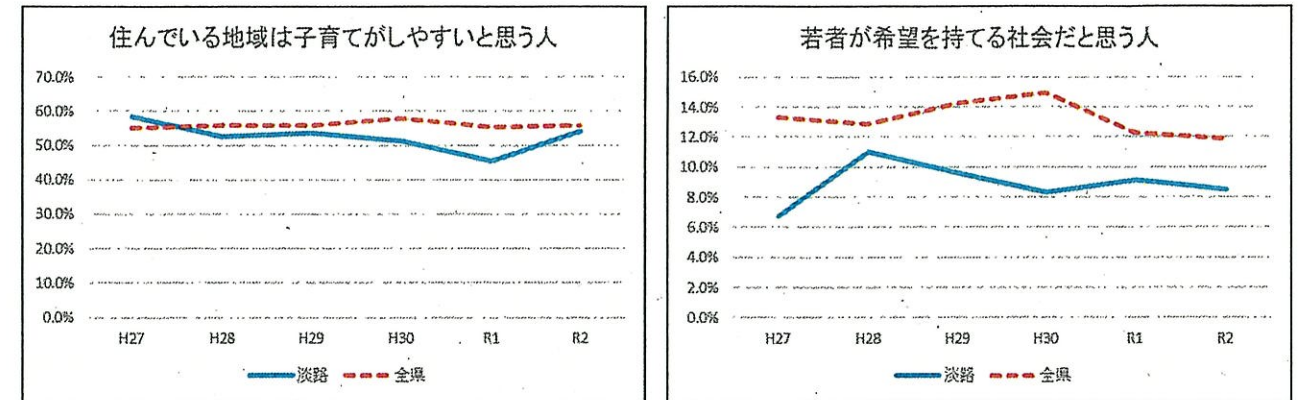
将来像2 兵庫らしい健康で充実した生涯を送れる社会を実現する

- ・「かかりつけ医の医者がある人」の割合は高く、身近な診療機関が機能していると評価できる。
- ・「心身ともに健康であると感じる人」の割合は県下ワースト1の低さであり、体だけでなく心の豊かさの充実も図る必要があると思われる。



将来像3 次代を支え挑戦する人を創る

- ・「住んでいる地域は子育てがしやすいと思う人」の割合は全県並みであるが、都市部と比べると低い割合になっている。
- ・「若者が希望を持てる社会だと思う人」の割合は非常に低く、次の世代を担う若者にとって希望を持てる淡路島をめざす必要がある。

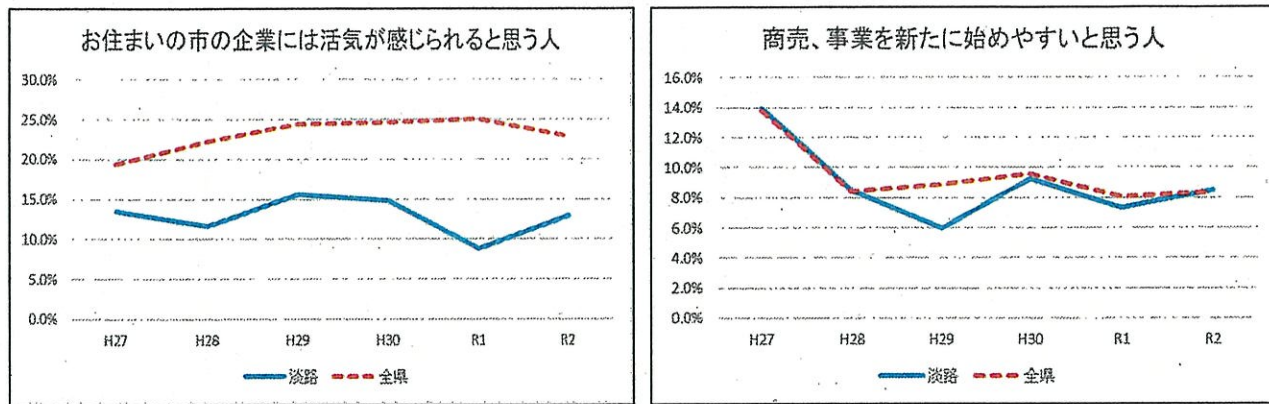


4つの 将来 像	12のめざ す姿	指 標 名	H27	H28	H29	H30	R1	R2	全県
しごと と 活 性 社 会	未来を拓く 産業の力を 高める (将来像4)	お住まいの市・町には、優れた製品・技術・ブランド力をもった企業があることを知っている人の割合	27.8%	30.0%	29.7%	33.3%	26.6%	28.8%	39.8%
		お住まいの市・町の企業には活気が感じられると思う人の割合	13.5%	11.6%	15.6%	14.8%	8.8%	12.9%	22.8%
		商売、事業を新たに始めやすいと思う人の割合	13.9%	8.5%	6.0%	9.2%	7.3%	8.5%	8.4%
	地域と共に 持続する産 業を育む (将来像5)	地元や県内でとれた農林水産物を買っている人の割合	87.7%	86.6%	83.2%	83.9%	83.6%	84.7%	70.7%
		お住まいの市・町では、観光などの訪問客が増えていると思う人の割合	47.8%	44.9%	42.5%	48.8%	48.4%	48.9%	25.4%
		お住まいの市・町では、生活の不便さを補うサービス産業が増えていると思う人の割合	15.7%	19.7%	13.7%	16.2%	13.3%	16.7%	17.8%
		お住まいの市・町の駅前や商店街に、活気が感じられると思う人の割合	5.2%	7.6%	3.7%	1.9%	3.2%	2.6%	15.0%
		地元や県内の農林水産業に、活気が感じられると思う人の割合	23.8%	32.3%	27.3%	28.2%	19.5%	25.5%	21.0%
	生きがいに あふれたし ごとを創る (将来像6)	地元や県内でとれた農林水産物は安心だと思ふ人の割合	80.0%	78.1%	81.5%	87.2%	84.5%	83.5%	76.8%
		自分のしごとにやりがいを感じる人の割合	61.6%	74.5%	62.5%	70.8%	60.2%	63.4%	61.8%
		しごとと自分の生活の両立ができている人の割合	68.0%	70.0%	70.9%	71.5%	67.8%	61.8%	66.1%
		自分にあつた職業への就職や転職がしやすい社会だと思ふ人の割合	3.9%	4.5%	4.2%	7.4%	5.0%	4.3%	8.2%
		年齢や性別を問わず、働きやすい環境が整っていると思ふ人の割合	6.7%	6.0%	6.5%	8.3%	7.7%	7.2%	10.2%

II しごとと活性社会

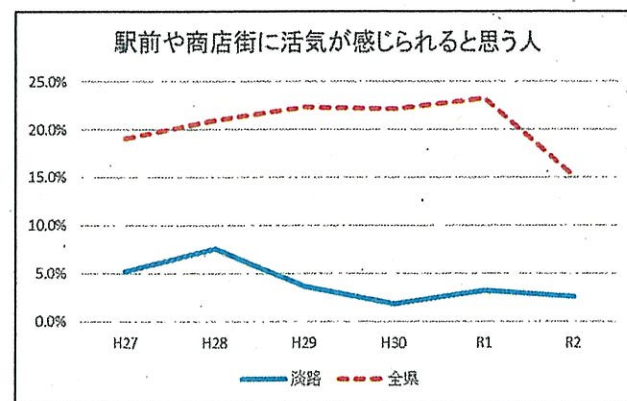
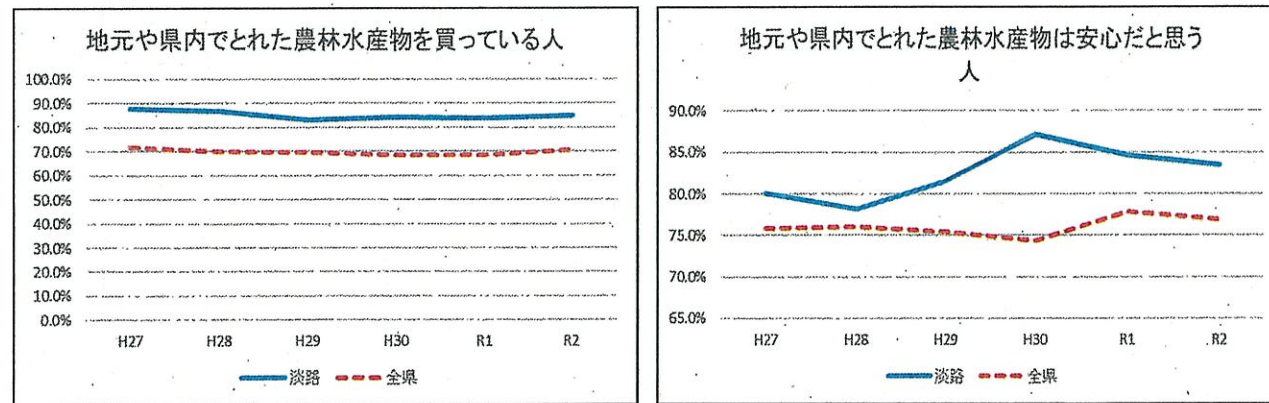
将来像4 未来を拓く産業の力を高める

・「企業に活気が感じられる」や「商売・事業の始めやすさ」など産業の力に関しては低い評価となっている。起業に挑戦できる環境や新技術の導入等による産業の活性化が今後の課題である。



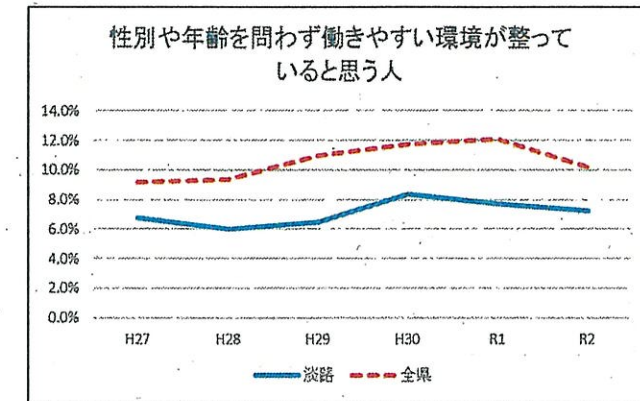
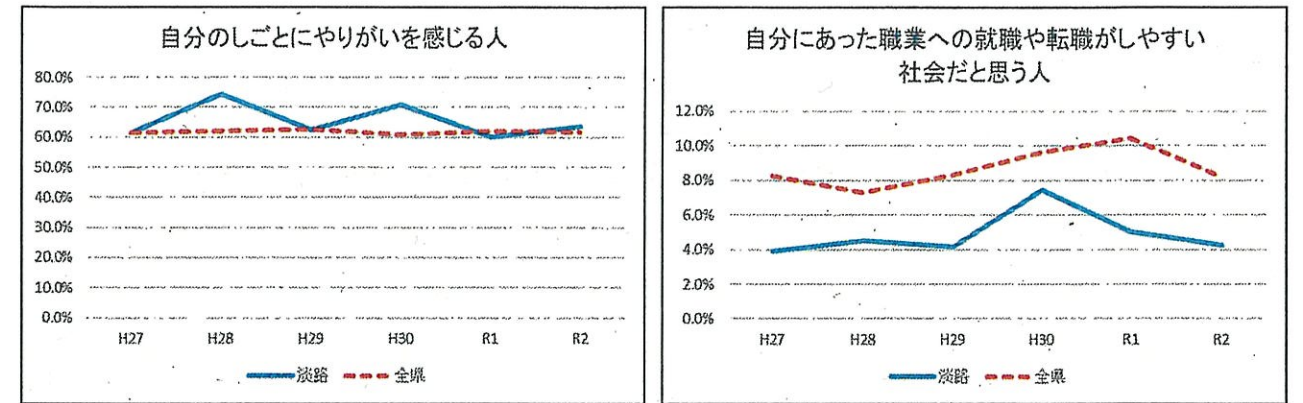
将来像5 地域とともに持続する産業を育む

・「地元や県内でとれた農林水産物を買っている人」及び「地元や県内でとれた農林水産物は安心だと思う人」の割合はどちらも県下トップであり、地元の食に関する評価は非常に高い。
 ・「駅前や商店街に活気が感じられると思う人」の割合はワースト1の低さであり、地域を活性化するうえで新たな方向性を考える必要があるのかもしれない。



将来像6 生きがいにあふれたしごとを創る

・「自分のしごとにやりがいを感じる人の割合」は比較的高く、自営業主の割合が他地域と比べて高いことが要因の一つと考えられる。
 ・「自分にあった職業への就職や転職のしやすさ」や「年齢、性別を問わず働きやすい環境が整っているか」という雇用環境に対する評価は非常に低い。

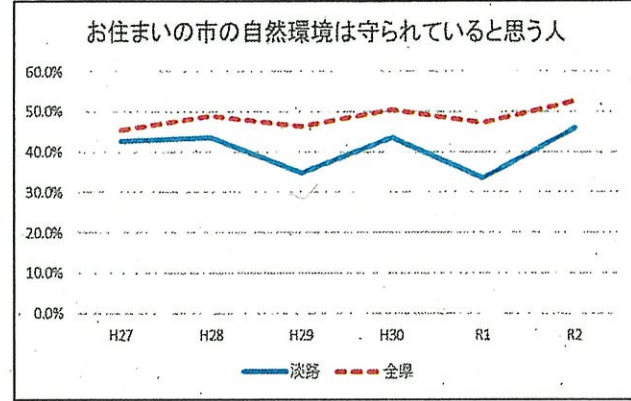
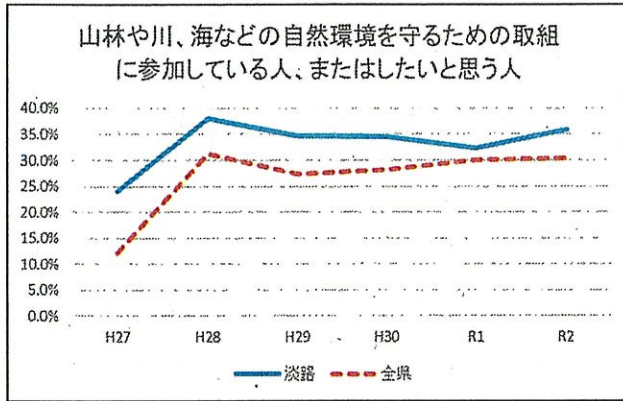


4つの 将来像	12のめざ す姿	指 標 名	H27	H28	H29	H30	R1	R2	全県
環境優先社会	人と自然が 共生する地 域を創る (将来像7)	山林や川、海などの自然環境を守るための取組に参加している、またはしたいと思う人の割合	24.0%	38.1%	34.7%	34.4%	32.3%	35.8%	30.4%
		お住まいの市・町の自然環境は守られていると思う人の割合	42.6%	43.4%	34.9%	43.5%	33.5%	45.9%	52.7%
		お住まいの市・町では、自然の生き物(動物・植物)とふれあう機会があると思う人の割合	44.0%	39.0%	30.1%	41.4%	29.4%	42.1%	40.1%
	低炭素で資 源を生かす 先進地を創 る (将来像8)	太陽光発電など「再生可能エネルギー」を利用する取組に参加している、または参加したいと思う人の割合	28.4%	25.3%	17.9%	26.7%	24.8%	23.2%	22.5%
		ごみの分別やりサイクルに取り組んでいる人の割合	88.6%	86.4%	87.6%	88.5%	90.4%	88.8%	91.0%
		日頃から節電に取り組んでいる人の割合	78.1%	76.5%	79.0%	76.4%	76.7%	75.1%	77.5%
		製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでいる人の割合	63.3%	57.0%	51.4%	60.6%	52.3%	54.7%	57.6%
	災害に強い 安全安心な 基盤を整え る (将来像9)	住んでいる地域で、災害に備えた話し合いや訓練に参加している人の割合	38.1%	34.5%	38.7%	37.4%	38.2%	34.6%	31.6%
		災害時の避難所と避難方法を知っている人の割合	71.0%	58.1%	67.4%	71.7%	74.0%	70.9%	73.1%
		家庭で災害に対する自主的な備えをしている人の割合	39.2%	38.7%	36.7%	40.3%	42.2%	38.9%	42.5%
		住んでいる地域の災害に対する備えは、以前より確かなものになっていると思う人の割合	39.4%	38.4%	34.7%	41.2%	42.7%	36.2%	37.2%

Ⅲ 環境優先社会

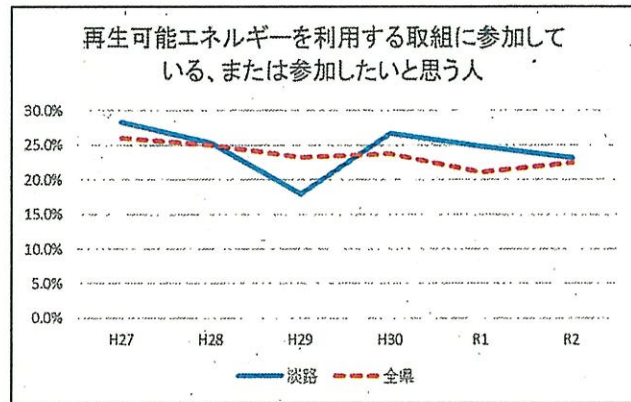
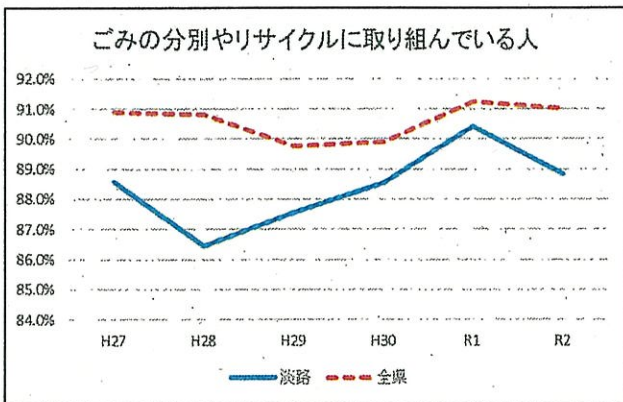
将来像7 人と自然が共生する地域を創る

- ・「自然を守るための取組に参加している人、またはしたい人」の割合は県下各地域と比べても高く評価されている。
- ・一方で、「自然環境は守られていると思う人」の割合は県下各地域の中でも低い評価となっている。



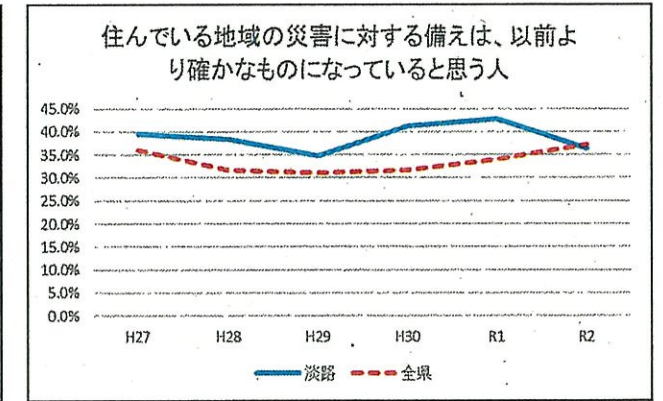
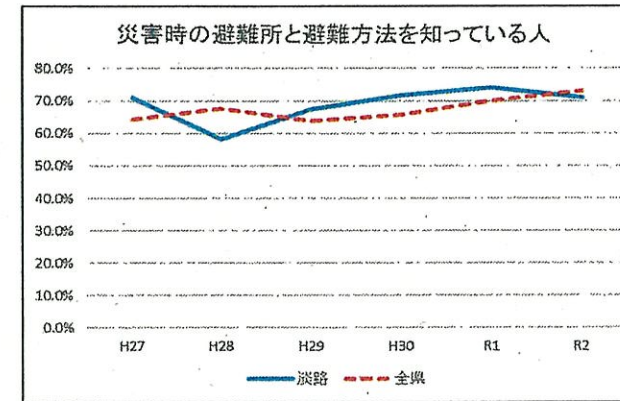
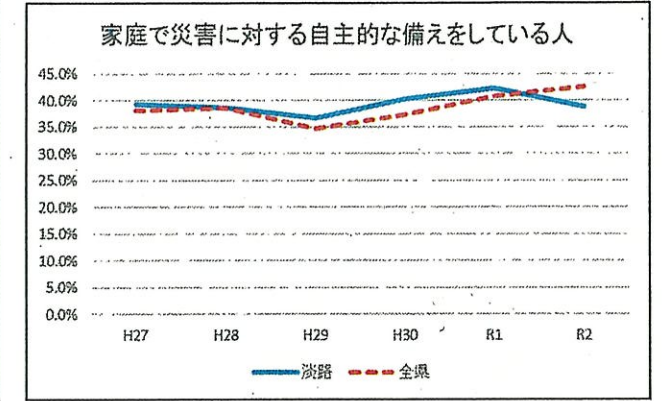
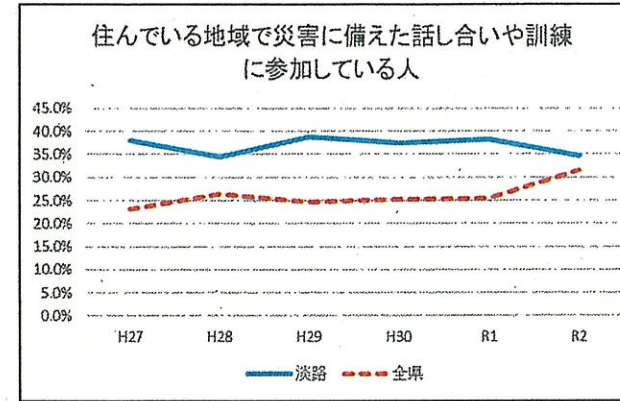
将来像8 低炭素で資源を生かす先進地を創る

- ・「ごみの分別やリサイクルに取り組んでいる人」の割合は全県的に評価が高く、淡路地域においても上昇傾向にあるので引き続き取組を継続する必要がある。
- ・再生可能エネルギーの利用については、全県的な地域差はほとんどないが、まだ個人の住宅等において省エネ化を図る余地はあると思われる。



将来像9 災害に強い安全安心な基盤を整える

- ・災害に関する評価は、いずれの項目においても増減はあるもののほぼ横ばいに推移している。特に淡路地域は、近い将来、高い確率で発生すると予想されている南海トラフ地震によって大きな被害が出ると予測されている中で、地域住民の防災意識の向上は重要であるといえる。

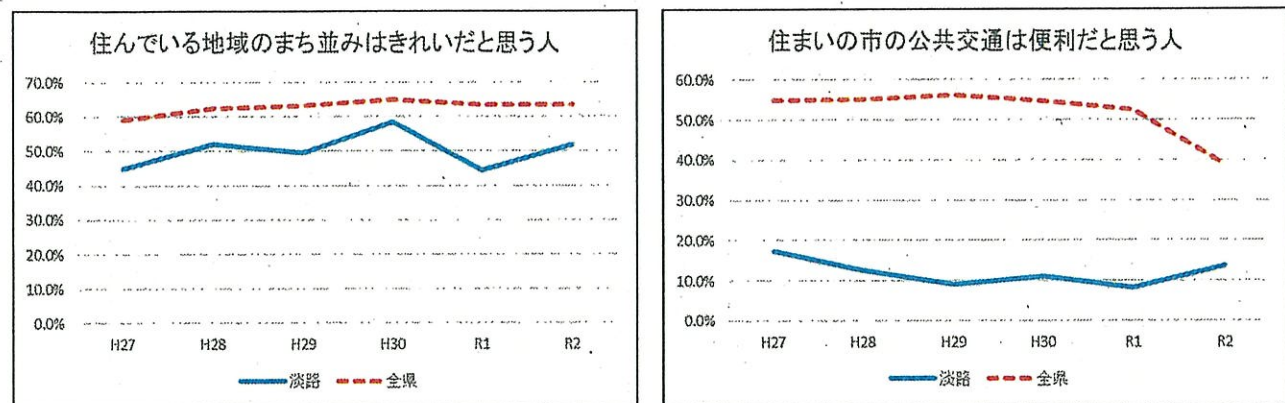


4つの 将来 像	12のめざ す姿	指 標 名	H27	H28	H29	H30	R1	R2	全県
多 彩 な 交 流 社 会	地域の交 流・持続を 支える基盤 を整える (将来像 10)	住んでいる地域は、買い物や通院に便利だと思う人の割合	39.5%	48.0%	37.2%	37.0%	30.6%	36.1%	53.9%
		住んでいる地域のまち並みはきれいだと思う人の割合	44.9%	52.0%	49.5%	58.4%	44.3%	51.7%	63.5%
		お住まいの市・町の公共交通は便利だと思う人の割合	17.4%	12.5%	9.1%	11.1%	8.2%	13.7%	38.7%
		お住まいの市・町は、県内のどこへでも便利に移動できると思う人の割合	29.0%	40.5%	38.1%	36.3%	31.2%	34.3%	51.1%
	個性を生か した地域の 自立と地域 間連携で元 気を生み出 す (将来像 11)	住んでいる地域のことに関心がある人の割合	75.1%	68.2%	71.1%	75.9%	66.0%	63.4%	69.5%
		住んでいる地域をより良くしたり、盛り上げたりする活動に参加している、または参加したい人の割合	35.4%	39.3%	39.2%	42.3%	36.9%	36.2%	36.9%
		住んでいる地域に愛着や誇りを感じる人の割合	69.4%	67.3%	67.4%	72.4%	63.1%	64.1%	65.2%
		お住まいの市・町には、自慢したい地域の「宝」(風景や産物、文化など)があると思う人の割合	50.5%	49.8%	49.5%	59.1%	45.5%	50.9%	55.0%
	世界との交 流を兵庫の 未来へ結 ぶ (将来像 12)	海外に出かけたり、海外での生活を経験したりしてみたい人の割合	25.4%	33.3%	27.9%	27.9%	27.5%	28.5%	34.1%
		外国人を見かけたり、外国人と接したりする機会が増えていると思う人の割合	14.1%	35.9%	27.4%	34.3%	34.0%	29.9%	34.1%
		お住まいの市・町は、外国人にも住みやすくなっていると思う人の割合	8.3%	15.0%	20.0%	14.7%	11.4%	18.7%	23.8%

IV 多彩な交流社会

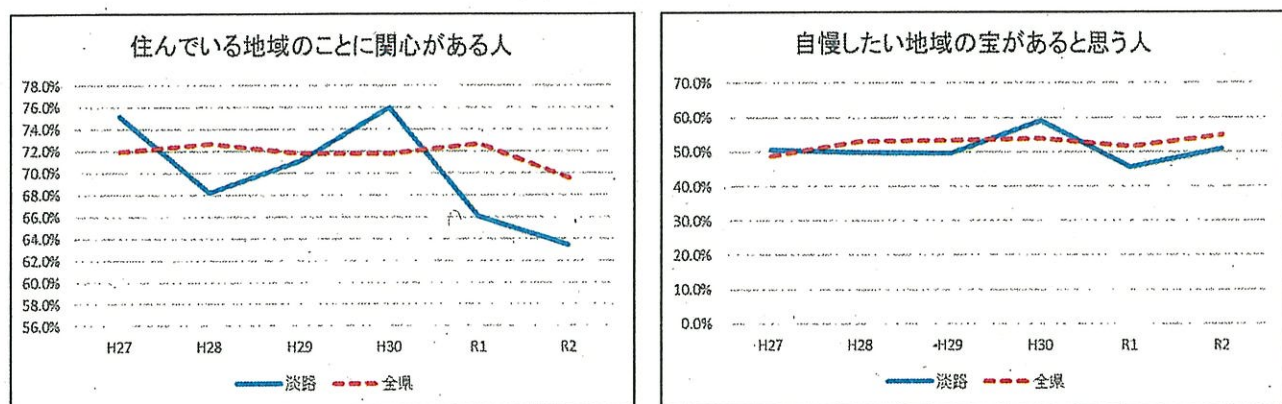
将来像 10 地域の交流・持続を支える基盤を整える

- ・淡路地域は海や山などのロケーションの良い場所がたくさんあり、観光客も増加しているが、地域住民の「まち並みがきれいだと思う人」の割合は県下で最低評価となっている。
- ・「公共交通は便利だと思う人」の割合も車社会ということや公共交通が不便であるということもあって県下で最低評価となっている。



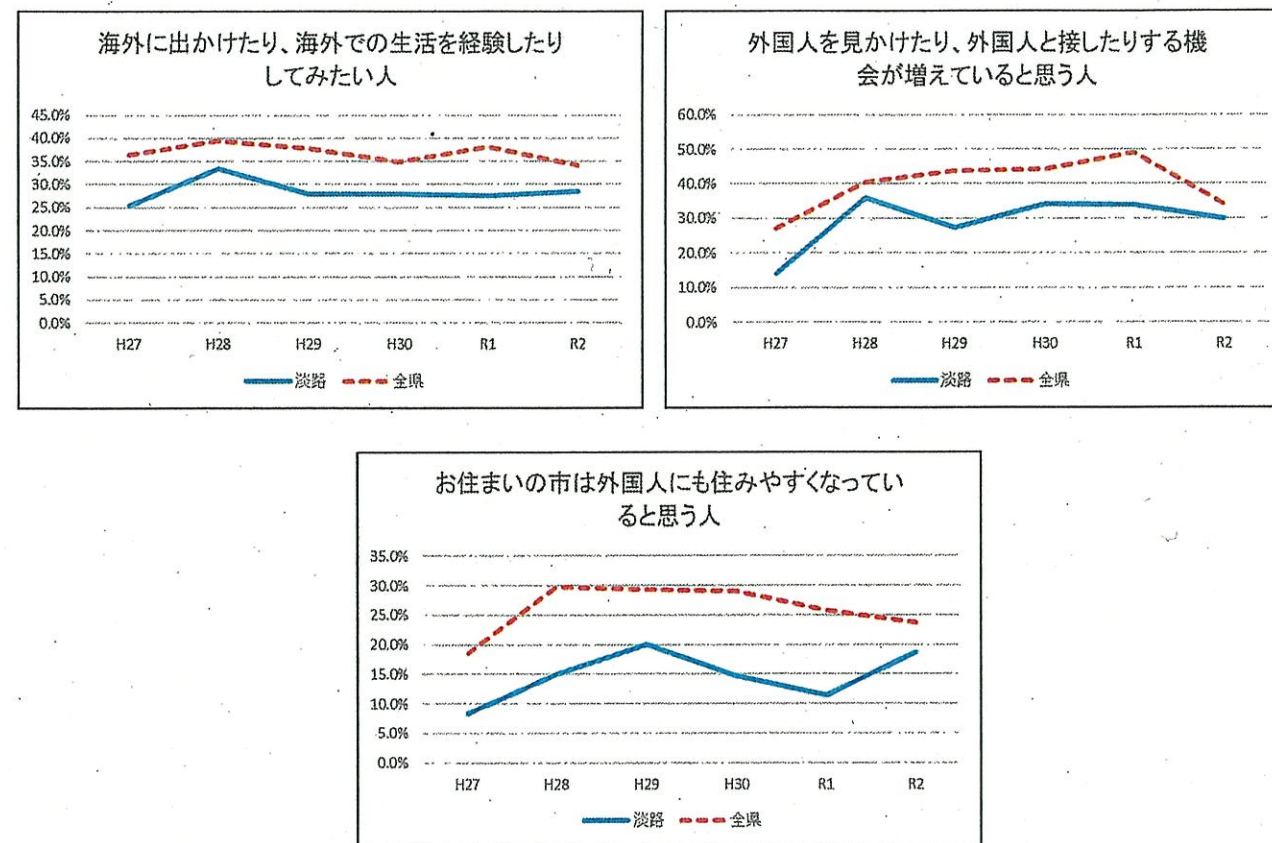
将来像 11 個性を生かした地域の自立と地域間連携で元気を生み出す

- ・淡路地域には海や山などの自然環境、食文化、歴史文化など魅力が多くあるにもかかわらず、「住んでいる地域に関心がある人」や「自慢したい地域の宝があると思う人」の割合は県下の中でも低い評価である。これからの淡路地域を担っていく若者に対し、地域への関心を高め、地元への愛着を育む取組が必要と思われる。



将来像 12 世界との交流を兵庫の未来へ結ぶ

- ・地域住民の海外志向は低く、外国人と接する機会も多くはないという評価であるが、グローバル化が進む中で、ますます外国人観光客や労働者などが増えるを見込まれる。今後、外国人にとっても快適に過ごせる環境を整える必要がある。

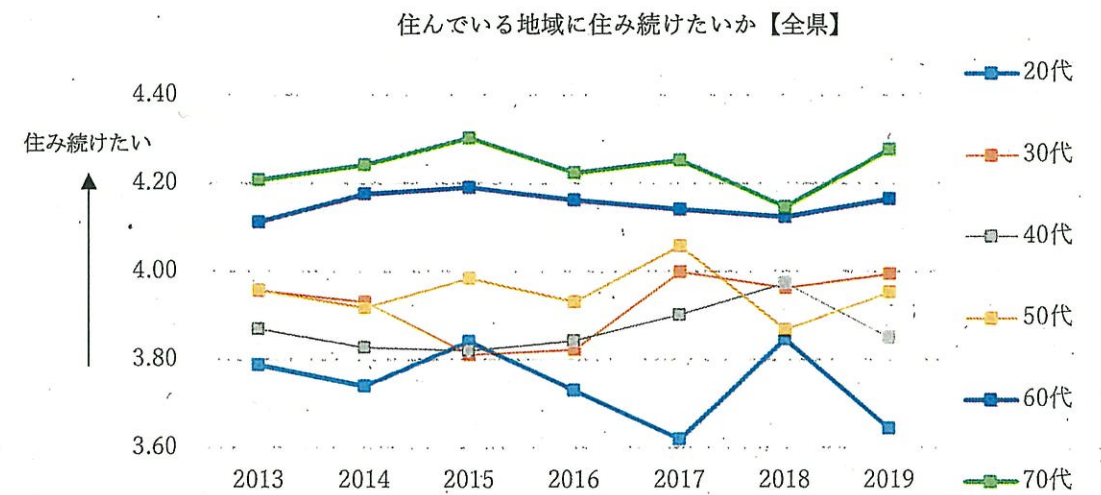
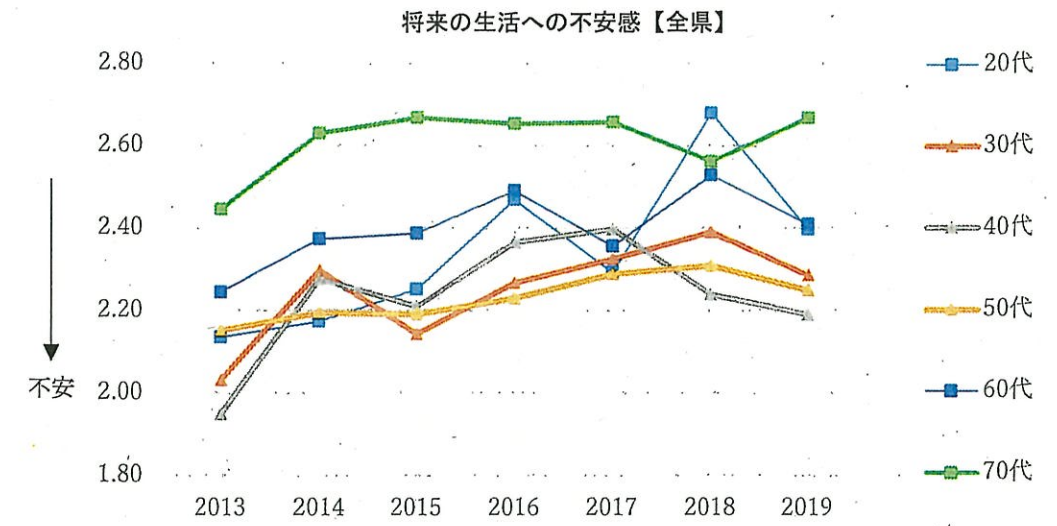
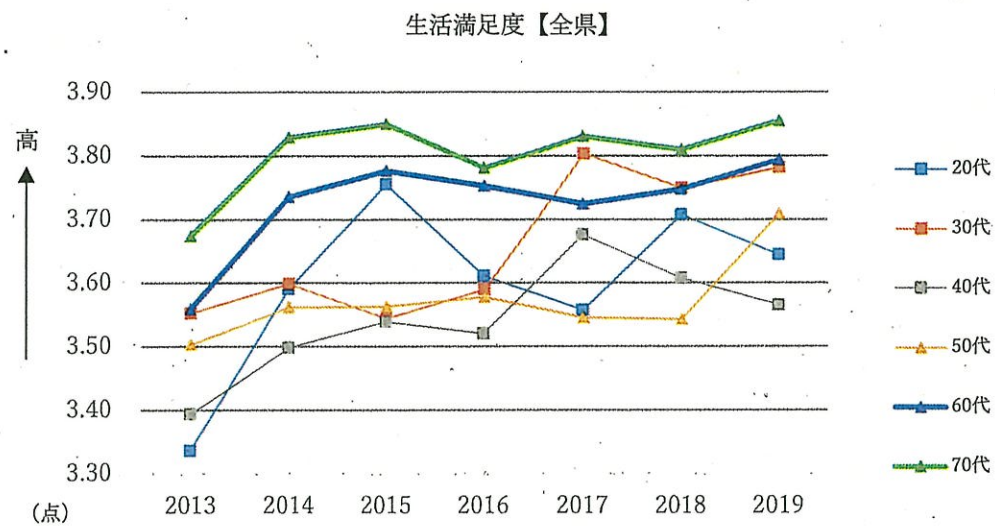
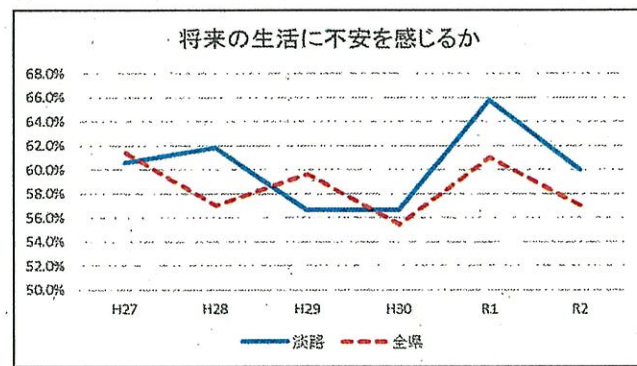
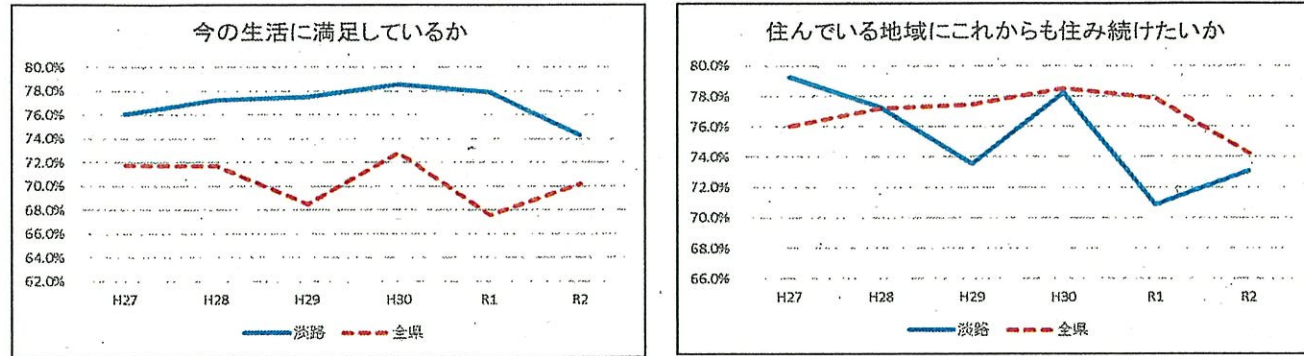


		指 標 名	H27	H28	H29	H30	R1	R2	全県
全体評価	総合的 生活満足度	住んでいる地域にこれからも住みたい人の割合	79.2%	77.3%	73.5%	78.2%	70.8%	73.1%	74.3%
		全体として、今の生活に満足している人の割合	71.8%	71.7%	68.5%	72.8%	67.6%	70.2%	74.1%
		全体として、将来の生活に不安を感じる人の割合	60.6%	61.8%	56.6%	56.7%	65.7%	60.0%	57.1%

総合的満足度

「住んでいる地域に住み続けたい人」や「今の生活に満足している人」など身近な暮らしに関して、肯定的な回答が7割を超えているが、「将来の生活に不安を感じる人」の割合も増加傾向となっている。

全県を世代別にみると、生活満足度は60代、70代で高い傾向がある一方で、将来への不安は30代～50代で高く、老後や介護など、現実的な生活への不安を抱えていることが想定される。



県民意識調査 淡路地域独自項目調査

	項目	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1	住んでいる地域のことについて学ぶ機会がありますか。	31.3%	35.4%	35.4%	35.0%	30.1%	29.3%
2	住んでいる地域はごみのない美しいまちだと思いますか。	52.5%	46.2%	47.7%	52.6%	40.9%	48.4%
3	お住まいの市では、自然の恵みを有効に活用していると思いますか。	47.0%	45.7%	42.1%	55.8%	41.6%	55.1%
4	住んでいる地域は淡路島らしい景観が守られていると思いますか。	63.3%	62.6%	53.3%	63.3%	56.8%	61.2%
5	お住まいの市では、伝統や自然などを生かした産業が営まれていると思いますか。	43.9%	50.5%	42.3%	51.0%	48.7%	47.9%
6	お住まいの市の地場産業に活気が感じられると思いますか。	23.2%	24.7%	20.1%	26.9%	18.6%	25.6%
7	お住まいの市は経済面、社会面、環境面のバランスがとれていると思いますか。	20.7%	15.8%	18.5%	19.8%	13.9%	22.5%
8	淡路地域の「食のブランド化」は進んでいると思いますか。	58.0%	51.5%	51.2%	58.1%	49.0%	52.4%
9	淡路地域の食材や農林水産業などを生かした取組が進んでいると思いますか。	52.4%	51.8%	43.7%	59.1%	40.7%	48.5%
10	「あわじ環境未来島構想」の内容を知っていますか。	19.7%	12.8%	18.5%	16.2%	11.3%	9.2%

淡路地域独自項目調査

55項目の設問以外に、淡路地域独自の10項目について調査した。傾向として、自然環境や食に関する設問では毎年おおむね半数以上の肯定的な評価を得ているが、経済や地域についての学びに関する設問では低い評価となっている。

また、平成23年度から国の総合特区の指定を受け、推進している「あわじ環境未来島構想」の内容についての認知度は減少傾向にあり10%を下回っている。

